

岐阜県家庭教育学級実践事例

体験活動参加型・在宅取組型(小学校)

学 校 名 等	養老町立笠郷小学校
実 施 日 時	① 令和6年7月12日(金) ② 毎月第三日曜日(家庭の日)
会 場	① 家庭科室 ② それぞれの家庭
参 加 人 数	① 14名 ② 全校児童224名、保護者164名
学習課題(分野)	① コサージュ作り体験教室 ② ノーゲームデー、家族とお話タイム (基本的な生活習慣・社会のルール)
運営者の願い	① 体験活動を通して保護者同士の交流の場を設けることで、保護者が親交を深め、つながりを作りたいと考え、コサージュ作り体験教室を行った。 ② 家庭でゲームやインターネットの約束を決めて取り組むことで、ネットトラブルを未然に防ぎ、家庭での会話や基本的な生活習慣を大切にしたいと考え、取組を継続的に取り組んでいる。
学 習 の 内 容	
① 〈コサージュ作り体験教室〉 講師の方を招いて、コサージュ作り体験を行った。この活動では、保護者が参加したいと思う魅力的な内容にし、体験活動を通して保護者同士の交流の場を設けることで、保護者が親交を深め、つながりを作ることをねらいとした。 コサージュのパーツをたくさんの種類から選ぶ際には、仲良く相談する声が聞かれた。また、互いにコサージュを見せ合いながら楽しく会話する姿が見られた。一緒に素敵なコサージュを作りながら、楽しい時間を過ごすことができ、参加者は大満足だった。 今回も、昨年度に続き、アンケートをオンラインフォーム作成ツールで行い、QRコードから答えていただくことで、家庭教育委員の集計作業の軽減を図った。時間がある時に回答できるため、参加者にとっても、主催者側にとっても好評だった。	
② 〈「ノーゲームデー」「家族とお話タイム!」〉 養老町の情報モラルスマイル宣言を受け、笠郷小PTA では「ノーゲームデー」「家族とお話タイム!」を継続して行っている。毎月第3日曜の家庭の日を「ノーゲームデー」とし、ゲームをしないで家族と一緒に活動する機会としている。また、「家族とお話タイム!」と題し、家庭で会話の場をもつ取組もしている。特に、4月は会話のテーマを「情報機器・情報モラルの約束を家庭で決めよう」とし、家庭での情報機器の使い方について確かめた。取組カードには、保護者からの温かいコメントが書かれ、子ども達の励みになっている。	



自分だけの時間

「普段は子どもを見守り支える立場である親でも、コサージュ体験教室では、自分が主役です。楽しみ半分、不安も半分で参加しましたが、講師の方や参加したお母さん方と楽しく会話しながら、充実した時間を過ごしました。毎日の生活で、つつい忙しさに流されてしまいそうになりますが、素敵なコサージュを作りながら、自分見つめの時間にもなりました。(参加者の感想より)」

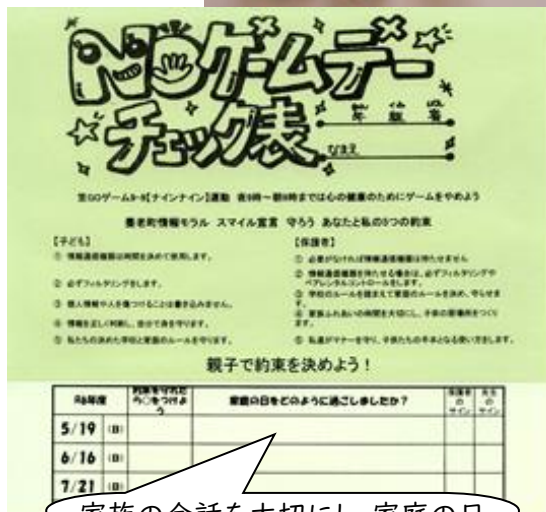


素敵な作品ができました。



PTA の願いの実現

養老町情報モラルスマイル宣言は、平成25年度に、子どもと大人が共に考え、共に決めて宣言したものである。子ども5か条と大人5か条から成っている。この宣言を大切に、毎月の取組と振り返りを継続しているのが、笠郷小PTAの「ノーゲームデー」「家族とお話タイム」である。子どもの情報機器との付き合い方が課題となって久しい現在、家庭での約束を決め、点検して基本的な生活習慣を大事にするだけでなく、家族の会話を大切にしたいというPTAの願いが込められている。



家族の会話を大切に、家庭の日をどのように過ごしたかを記入しています。